

No.	評価項目	課題 ※重点項目 ☆重点努力事項	重点課題	対策
1	あいさつ	職員、保護者の評価が若干改善したが、児童の評価が低い。	笑顔☆ ★★★	道徳や特活など授業における対話的な学びの充実、1年間を通じた具体的なスキルの指導及びあいさつに関する企画の充実
2	仲良く	児童の全体的な評価は高く、学校は楽しくないと回答した児童も昨年度の17人から3人と改善された。	笑顔	一人一人を大切にされた学級経営の充実と分かる授業の確立
3	聴くこと	児童・保護者ともにできていると実感している傾向にあり、職員の評価も2.9⇒3.1と改善された。	夢	授業を中心に、学習規律に関する共通指導(ぐーぺたぴん、発表に関する話型の更なる徹底)
4	表現・交流	全体の約21%の児童ができていないと認識している。数値も若干悪くなっている。	夢	授業を中心に、対話する場面や表現する場の設定、話し合う視点の設定、表現力向上に関する共通指導の共有
5	そうじ	職員・児童の評価がともに低い。	笑顔 ★★	無言掃除のやり方、系統性の共有、全職員による共通の指導及び児童会からのアプローチの継続
6	教育目標	教育目標を知らない児童R3、36人⇒R4、14人、保護者R3、21人⇒R4,9人となり、改善が見られる。		各通信・HP・総会等での定期的な周知を続けていく。
7	行動指標	満足していない児童R3,34人⇒R4、51人、保護者R3、16人⇒R4,0人と改善が見られた。	笑顔	一人一人の児童を大切にすることを意識した認め・ほめ・励まし・伸ばすの実践の継続
8	教職員像	満足していない児童R3,26人⇒R4,37人と相談にのってもらえていないと感じる児童が増えた。	夢	気になる児童への積極的な声かけや定期的な教育相談の設定
9	分かる授業	授業が分からないと答えた児童18人が確認された。	夢	「5つの心得」を意識した授業改善と個に応じた指導、家庭学習の充実
10	家庭学習	保護者はできていないと感じる回答が多い。評価2.9	夢☆ ★	「ゆりのきっ子ノート」の活用に関する保護者への周知及び計画的な家庭学習の推進
11	道徳科	学んだことの実践ができていないと回答する児童が54人いることが確認された。	笑顔	体験的活動等も取り入れた教科横断的な授業実践の推進
12	立腰	職員の意識は高まったが、児童、保護者ともにできていないと実感している。	元気 ★★★	ぐーぺたぴんの更なる徹底及び日々の授業での継続した指導
13	地域人材	保護者の評価が若干下がっているが、職員の評価の高まりが見られる。		地域人材活用に関する意図的・積極的な活用
14	情報発信	全体的に満足度が高い傾向であるが、昨年度に比べ若干、保護者の評価が下がった。		学校だより・HPの継続及び内容の充実
15	PDCA	職員は意識して取り組んでいる傾向にある。		課題を共有し、共通実践の更なる推進
16	危機管理	概ね良好である。		自分事としてとらえるボトムアップ形式の効果的な研修の充実
17	不登校対策	不登校傾向児童の改善傾向見られた児童がいる一方、不登校傾向になりつつある児童も見られる。		組織的対応の更なる継続及び新たな不登校問題を生じさせない実践の引継ぎ
18	外国語	保護者には、外国語教育に対して、もっとできる余地があると捉えている方が35人いることが確認された。	夢	学校だより、学年だより、HP等による活動状況の発信を定期的に進める
評議員からの御意見		・「あいさつ」に関して、登校班長(上学年)のリーダー性を発揮させながら、学校全体であいさつの励行を図っていくことが大切である。学校でやっていることを地域の人にもできるように。マスクを外せるようになったら、子供たちも声が出しやすくなるのでは、そこを期待したい。 ・「ぐーぺたぴん」の掲示がなされ、学校全体で立腰指導を進めていることがよい。低学年時から服装等の基本的な生活習慣の定着に取り組んでほしい。 ・「体力の低下」について、フォームの大切さを知ったり、運動の機会を適宜あたえたりしてほしい。 ・基本的な学力向上のため、読み・書き・計算の宿題を効果的にだしていただきありがたい。		

令和4年度 松橋小学校 学校評価アンケート(対象児童は3年生以上、対象保護者はP数)

令和5年1月実施

( 4:あてはまる 3:どちらかといえばあてはまる 2:どちらかといえばあてはまらない 1:あてはまらない ) として 保護者アンケートを実施

No	評価項目(質問文は職員及び保護者に対するもの) ☆重点努力事項		課題	職員	児童	保護者	平均	評価
1	児童は、友達や先生、来校者等に進んで、あいさつができる。	笑顔	★★★	3.0	2.8	3.0	2.9	○
2	児童は、お互いのよさや大切さを認め合い、楽しく学校生活を送っている。	笑顔		3.2	3.4	3.2	3.3	○
3	児童は、教師の説明や互いの発表、放送等を静かに聞くことができる。	夢		3.1	3.3	3.3	3.2	○
4	児童は、考える場や考えを表現する場(対話も)で互いにに関わりながら、学び合っている。	笑顔・夢		3.2	3.0	3.3	3.1	○
5	児童は無言そうじができています。	元気	★★	2.7	2.9	3.5	3.1	○
6	学校は、学校教育目標達成に向けて、組織的に取り組んでいる。			3.3	3.6	3.4	3.4	◎
7	教職員は、児童の学習意欲を高める「認め、ほめ、励まし、伸ばす」言葉かけを行っている。	笑顔		3.6	3.2	3.5	3.4	◎
8	教職員は、松橋小学校の職員として、謙虚な姿勢で「くまもとの教職員像」に近づく努力をしている。	夢		3.3	3.3	3.4	3.3	◎
9	教職員は、児童がよく分かる授業となるよう、指導法の工夫をしている。(5つの心得の日常化等)	夢		3.4	3.5	3.5	3.5	◎
10	教職員は、効果的な家庭学習の指導を、継続して行っている。	夢	★	3.4	3.2	2.9	3.2	○
11	教職員は、特別の教科「道徳」の意義を理解し、効果的・継続的に授業を進めている。	笑顔		3.4	3.1	3.2	3.2	○
12	教職員は、立腰の大切さを理解し、継続した指導をしている。	元気	★★★	3.3	2.6	2.7	2.9	○
13	学校は積極的に授業等を公開したり、学習に地域人材を要請したりして、保護者・地域と一体感のある教育を進めるよう努力している。			3.3	3.4	3.2	3.3	◎
14	学校は学級通信や学校便り、ホームページ等で、教育活動の様子や成果、課題等について積極的に発信している。			3.7	3.5	3.3	3.5	◎
15	教職員はPDCAサイクルのもと、学級経営や学習指導、校務分掌に当たっている。			3.4			3.4	◎
16	教職員は、安全点検後の対応を確実に実施し、学校は、事故やトラブルに対して迅速に対応できる体制を整えている。			3.6			3.6	◎
17	学校は、不登校の未然防止や対応に組織的・積極的に取り組んでいる。	笑顔		3.6			3.6	◎
18	学校は、英語などの外国語教育に注力し、児童は英語などの言語に慣れ親しんでいる。(保護者)	夢				3	3.0	○

評価: ×1(0~1.6) △(1.7~2.4) ○(2.5~3.2) ◎(3.3~4)